

# 中小企業景況調査報告

(第1四半期)

2020年4月～6月期実績

2020年7月～9月期予測

2020年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、令和元年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

2020年4月～6月期実施

### (5) 調査時点

2020年6月1日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50-20= (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (2020年4月～6月)		次期の見通し (2020年7月～9月)
	前年同期 (2019年4月～6月)に比べて	前期 (2020年1月～3月)に比べて	次期 (2020年4月～6月)に比べて 来期の見通し
製造業	▲33.3	▲33.3	▲33.3
建設業	±0	±0	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	▲20	▲20	▲20

**製造業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2020年4月～6月)		次期の見通し (2020年7月～9月)
		前年同期 (2019年4月～6月)に比べて	前期 (2020年1月～3月)に比べて	次期 (2020年4月～6月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	3	3
	悪化	1	1	1
	D・I	▲33.3	▲33.3	▲33.3
売上 (加工)額	増加	0	0	/
	不変	0	0	
	減少	3	3	
	D・I	▲100	▲100	
売上 (加工)単価	増加	0	0	/
	不変	1	0	
	減少	2	3	
	D・I	▲66.6	▲100	
売上 (加工)数量	増加	0	0	/
	不変	0	0	
	減少	3	3	
	D・I	▲100	▲100	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	2	1	
	悪化	1	2	
	D・I	▲33.3	▲66.6	
原材料 仕入単価	上昇	2	/	/
	不変	1		
	低下	0		
	D・I	66.6		
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	2		
	悪化	1		
	D・I	▲33.3		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、無し。

【来期計画内容】

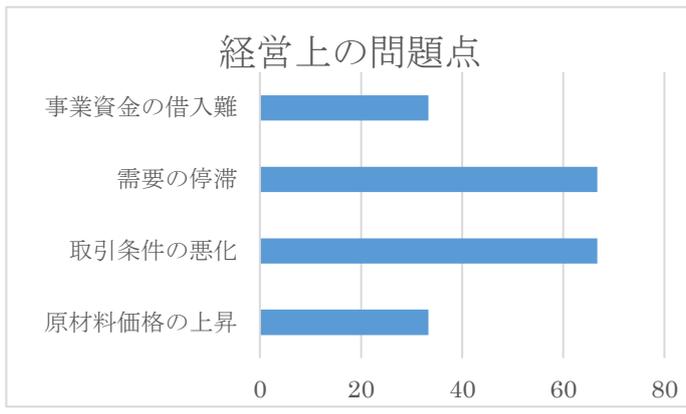
回答事業所の内、無し



○今期の経営上の問題点

回答の結果、「取引条件の悪化」「需要の停滞」が多く寄せられた。

更に「原材料価格の上昇」「事業資金の借入難」が多く、先行き不透明な感染症の拡大に対して、取引先の様々なニーズへの対応が迫られている。



**建設業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (2020年4月～6月)		次期の見通し (2020年7月～9月)
		前年同期 (2019年4月～6月)に比べて	前期 (2020年1月～3月)に比べて	次期 (2020年4月～6月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	0	0	/
	不変	1	2	
	減少	1	0	
	D・I	▲50.0	±0	
受注 (新規契約工事)額	増加	0	/	/
	不変	2		
	減少	0		
	D・I	±0		
材料仕入単価	増加	0	/	/
	不変	2		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	2	2	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	2		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、無し。

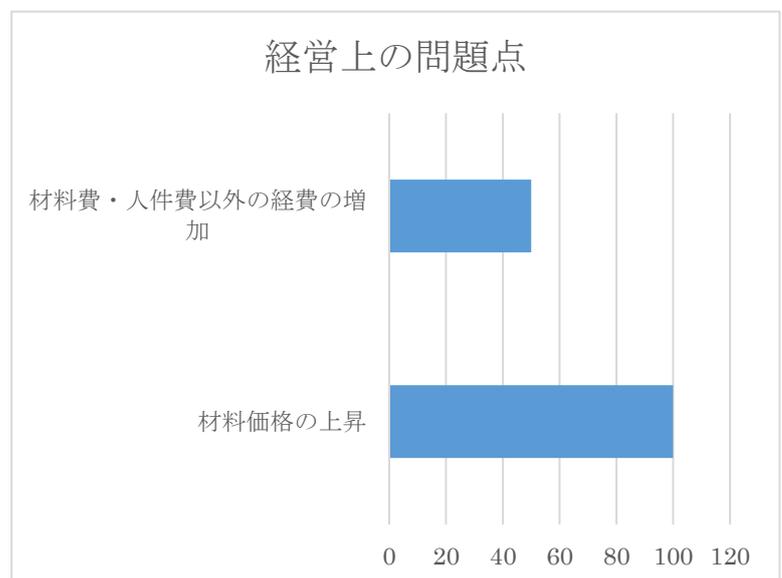
【来期計画内容】

回答事業所の内、無し。



○今期の経営上の問題点

今回の「材料価格の上昇」が最も多くさらに「材料費・人件費以外の経費の増加」との回答がある。



**小 売 業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2020年4月～6月)		次期の見通し (2020年7月～9月)
		前年同期 (2019年4月～6月)に比べて	前期 (2020年1月～3月)に比べて	次期 (2020年4月～6月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	0	0	/
	不変	0	1	
	減少	5	4	
	D・I	▲100	▲80	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	1	0	
	低下	4	5	
	D・I	▲80	▲100	
商品仕入単価	上昇	0	/	/
	不変	4		
	低下	1		
	D・I	▲20		
商品仕入額	増加	0	/	/
	不変	4		
	減少	1		
	D・I	▲20		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	4	4	
	悪化	1	1	
	D・I	▲20	▲20	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、無し。

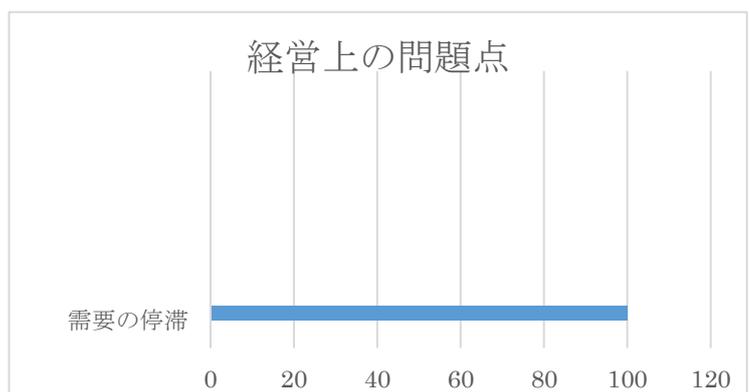
【来期計画内容】

来期計画も未定。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「需要の停滞」をあげられる事業所がほとんどであり、感染症拡大による消費の落ち込みが危惧される結果となる。



**サービス業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

状況	今期の状況 (2020年4月～6月)		次期の見通し (2020年7月～9月)
	前年同期 (2019年4月～6月)に比べて	前期 (2020年1月～3月)に比べて	次期 (2020年4月～6月)に比べて 来期の見通し
好転	0	0	0
不変	4	4	4
悪化	1	1	1
D・I	▲20	▲20	▲20
増加	0	0	/
不変	0	0	
減少	5	5	
D・I	▲100	▲100	/
上昇	0	0	
低下	3	3	
D・I	▲60	▲60	/
上昇	1		
低下	0		
D・I	20		/
好転	0	0	
悪化	3	3	
D・I	▲40	▲40	/
好転	0		
悪化	1		
D・I	4		/
悪化	4		
D・I	▲80		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は無し。

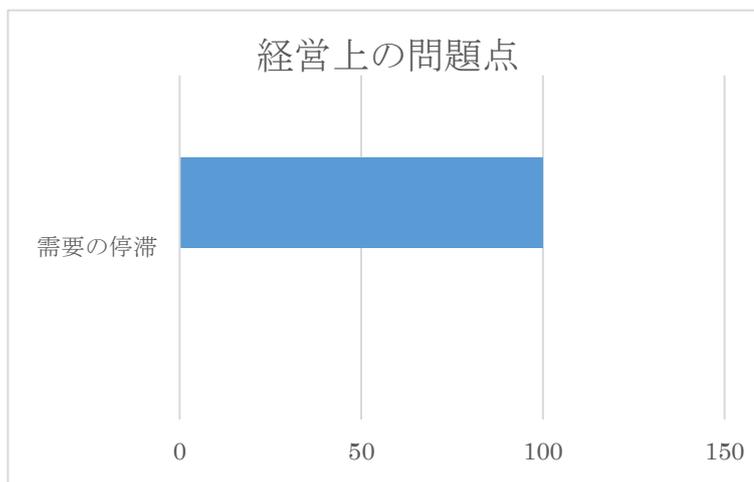
【来期計画内容】

回答事業所の内、来期実施は無し。



○今期の経営上の問題点

今回の調査では、小売業同様に「需要の停滞」をあげられる事業者が最多であった。



# 中小企業景況調査報告

(第2四半期)

2020年7月～9月期実績

2020年10月～12月期予測

2020年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、令和元年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

2020年7月～9月期実施

### (5) 調査時点

2020年9月1日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (2020年7月～9月)		次期の見通し (2020年10月～12月)
	前年同期 (2019年7月～9月)に比べて	前期 (2020年4月～6月)に比べて	次期 (2020年7月～9月)に比べて 来期の見通し
製造業	▲33.3	▲33.3	▲33.3
建設業	▲50	▲50	▲50
小売業	▲40	▲20	▲40
サービス業	▲60	▲20	▲40

**製造業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2020年7月～9月)		次期の見通し (2020年10月～12月)
		前年同期 (2019年7月～9月)に比べて	前期 (2020年4月～6月)に比べて	次期 (2020年7月～9月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	1	1	1
	D・I	▲33.3	▲33.3	▲33.3
売上 (加工)額	増加	0	0	/
	不変	0	0	
	減少	3	3	
	D・I	▲100	▲100	
売上 (加工)単価	増加	0	0	/
	不変	0	0	
	減少	3	3	
	D・I	▲100	▲100	
売上 (加工)数量	増加	0	0	/
	不変	0	0	
	減少	3	3	
	D・I	▲100	▲100	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	3	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
原材料 仕入単価	上昇	2	/	/
	不変	1		
	低下	0		
	D・I	66.7		
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	1		
	悪化	2		
	D・I	▲66.7		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、無し。

【来期計画内容】

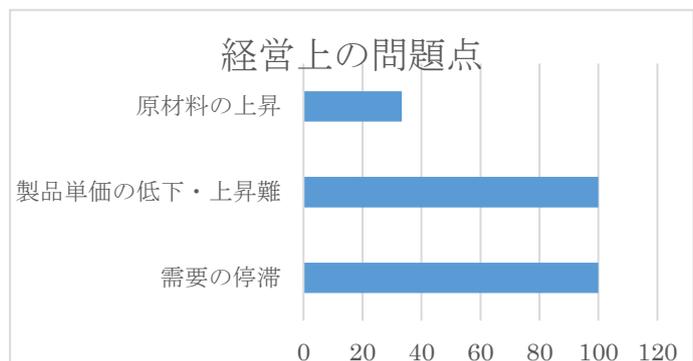
回答事業所の内、無し。



○今期の経営上の問題点

今回 1 位は、「需要の停滞」「製品単価の低下  
上昇難」となっている。

更に「原材料の上昇」となっている。



**建設業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (2020年7月～9月)		次期の見通し (2020年10月～12月)
		前年同期 (2019年7月～9月)に比べて	前期 (2020年4月～6月)に比べて	次期 (2020年7月～9月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	1	1	1
	悪化	1	1	1
	D・I	▲50	▲50	▲50
完成工事 (請負工事)額	増加	0	0	/
	不変	0	0	
	減少	2	2	
	D・I	▲100	▲100	
受注 (新規契約工事)額	増加	0	/	/
	不変	0		
	減少	2		
	D・I	▲100		
材料仕入単価	増加	2	/	/
	不変	0		
	減少	0		
	D・I	100		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	2	2	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	1		
	悪化	1		
	D・I	▲50		

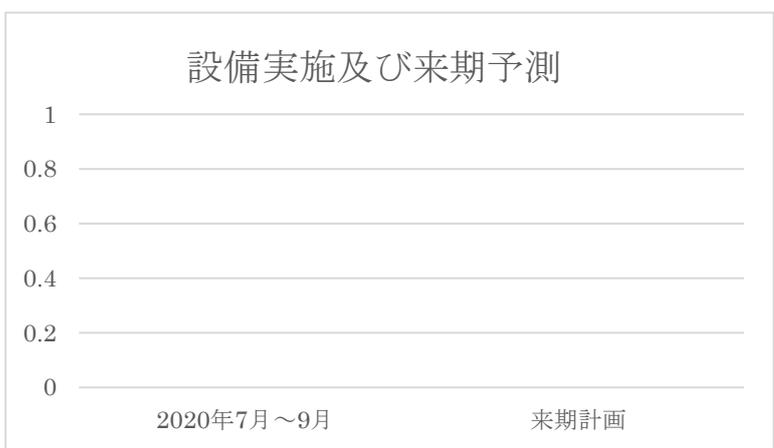
○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、無し。

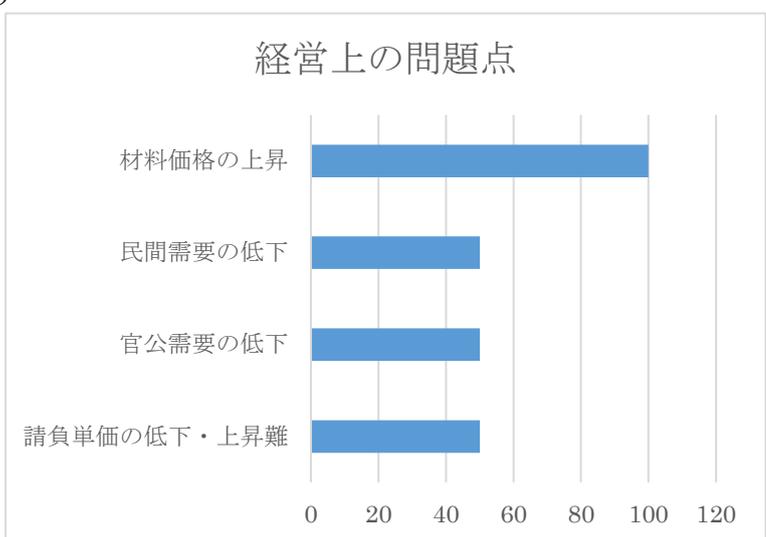
【来期計画内容】

回答事業所の内、無し。



○今期の経営上の問題点

今回の「材料価格の上昇」が上位を占めさらに官民の需要の低下や請負単価の低下など経営に与える影響が出てきている。



**小 売 業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2020年7月～9月)		次期の見通し (2020年10月～12月)
		前年同期 (2019年7月～9月)に比べて	前期 (2020年4月～6月)に比べて	次期 (2020年7月～9月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	3	4	3
	悪化	2	1	2
	D・I	▲40	▲20	▲40
売上額	増加	0	0	/
	不変	1	1	
	減少	4	4	
	D・I	▲80	▲80	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	1	1	
	低下	4	4	
	D・I	▲80	▲80	
商品仕入単価	上昇	3		/
	不変	2		
	低下	0		
	D・I	60		
商品仕入額	増加	2		/
	不変	3		
	減少	0		
	D・I	40		
商品在庫数量	増加	0		/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0		/
	不変	4		
	悪化	1		
	D・I	▲20		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、実施は20%。

- 生産設備＝20%

【来期計画内容】

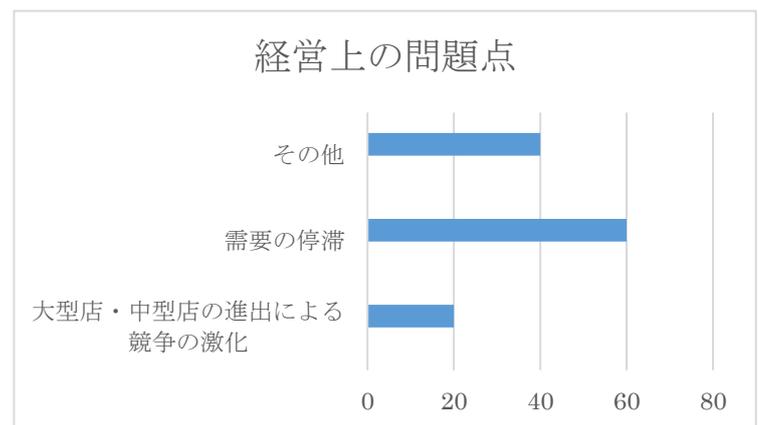
来期計画は実施予定20%。

- 店舗＝20%



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「需要の低下」がもっとも多くいただいた。



**サービス業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2020年7月～9月)		次期の見通し (2020年10月～12月)
		前年同期 (2019年7月～9月)に比べて	前期 (2020年4月～6月)に比べて	次期 (2020年7月～9月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	1	0
	不変	2	2	3
	悪化	3	2	2
	D・I	▲60	▲20	▲40
売上(収入)額	増加	0	1	
	不変	2	2	
	減少	3	2	
	D・I	▲60	▲20	
客単価	上昇	0	0	
	不変	3	3	
	低下	2	2	
	D・I	▲40	▲40	
仕入単価(材料等)	上昇	2		
	不変	3		
	低下	0		
	D・I	40		
資金繰り	好転	0	0	
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0		
	不変	3		
	悪化	2		
	D・I	▲40		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

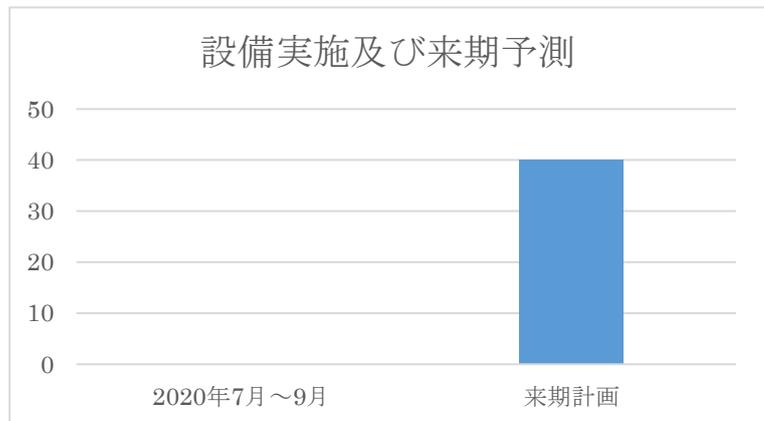
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は無し。

【来期計画内容】

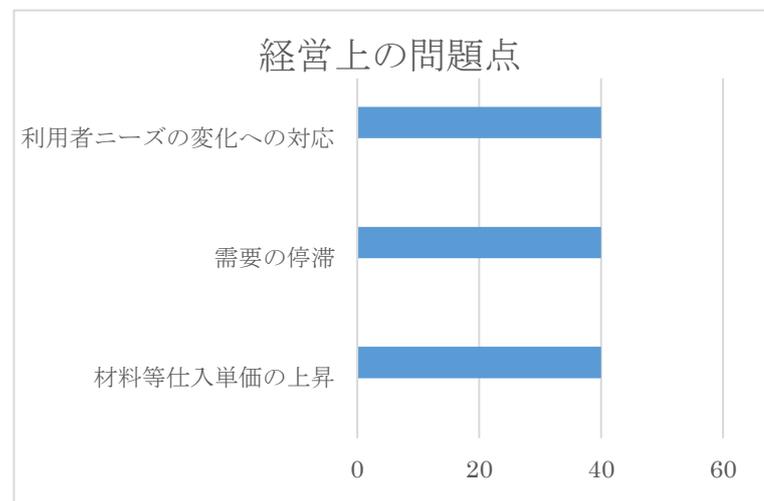
回答事業所の内、来期実施は40%予定。

●OA 機器=40%



○今期の経営上の問題点

今回の調査で、「利用者ニーズの変化への対応」や「需要の停滞」もっとも多く、仕入れ価格などの上昇について意見を多くいただいた。



# 中小企業景況調査報告

(第3四半期)

2020年10月～12月期実績

2021年1月～3月期予測

2020年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、令和元年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

2020年10月～12月期実施

### (5) 調査時点

2020年11月15日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (2020年10月～12月)		次期の見通し (2021年1月～3月)
	前年同期 (2019年10月～12月)に比べて	前期 (2020年7月～9月)に比べて	次期 (2020年10月～12月)に比べて 来期の見通し
製造業	▲33.3	▲33.3	▲33.3
建設業	▲50	▲50	▲50
小売業	±0	±0	±0
サービス業	±0	±0	±0

**製造業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2020年10月～12月)		次期の見通し (2021年1月～3月)
		前年同期 (2019年10月～12月)に比べて	前期 (2020年7月～9月)に比べて	次期 (2020年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	1	1	1
	D・I	▲33.3	▲33.3	▲33.3
売上 (加工)額	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	1	1	
	D・I	±0	±0	
売上 (加工)単価	増加	0	0	/
	不変	1	1	
	減少	2	2	
	D・I	▲66.7	▲66.7	
売上 (加工)数量	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	1	1	
	D・I	±0	±0	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	2	
	悪化	0	1	
	D・I	±0	▲33.3	
原材料 仕入単価	上昇	0	/	/
	不変	3		
	低下	0		
	D・I	±0		
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	3		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

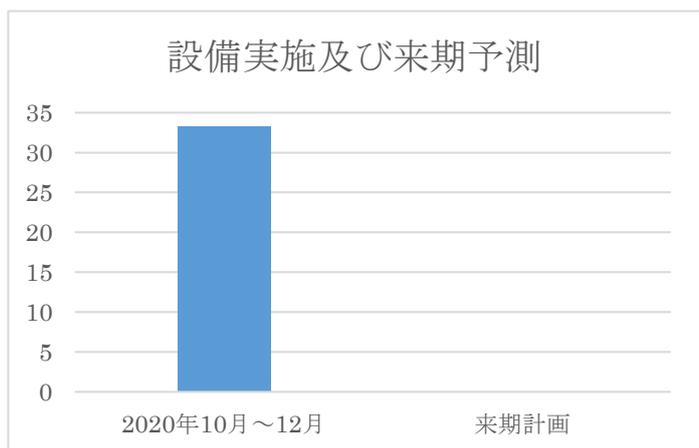
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施 33.7%が実施。

●生産設備=100%

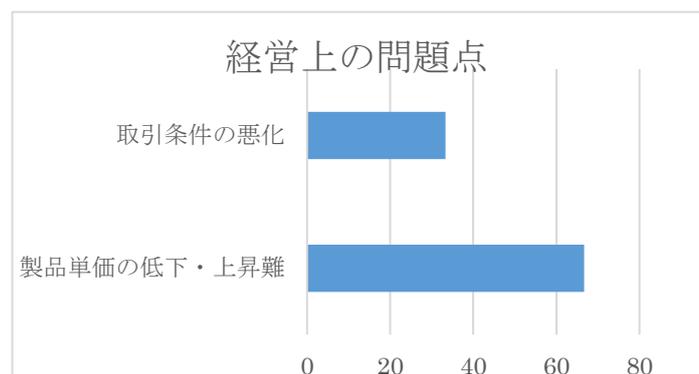
【来期計画内容】

回答事業所の内、無し。



○今期の経営上の問題点

今回 1 位は、「製品単価の低下・上昇難」となっている。



**建設業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (2020年10月～12月)		次期の見通し (2021年1月～3月)
		前年同期 (2019年10月～12月)に比べて	前期 (2020年7月～9月)に比べて	次期 (2020年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	1	1	1
	悪化	1	1	1
	D・I	▲50	▲50	▲50
完成工事 (請負工事)額	増加	0	0	/
	不変	1	2	
	減少	1	0	
	D・I	▲50	±0	
受注 (新規契約工事)額	増加	0	/	/
	不変	1		
	減少	1		
	D・I	▲50		
材料仕入単価	増加	0	/	/
	不変	1		
	減少	1		
	D・I	▲50		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	2	2	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	2		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、設備実施無し。

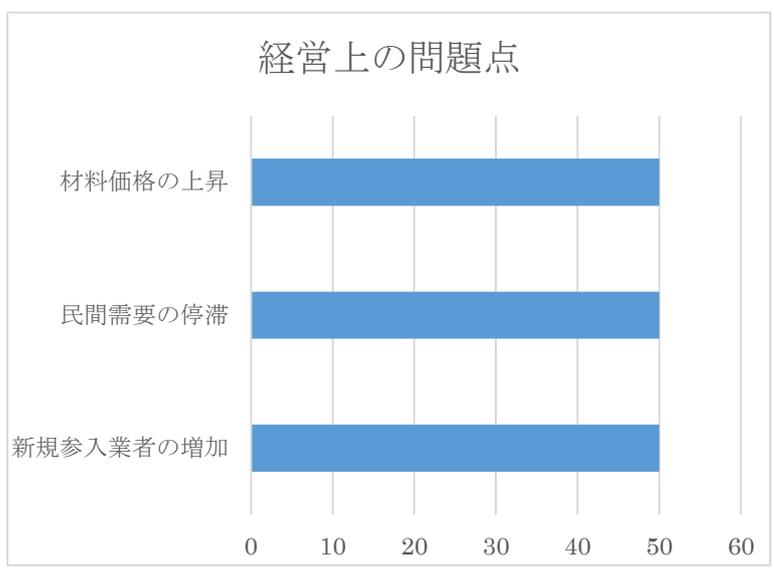
【来期計画内容】

回答事業所の内、計画は未定。



○今期の経営上の問題点

今回「材料価格の上昇」「民間需要の停滞」「新規参入業者の増加」などさまざまな経営課題が頻発している状況にあると推察される。



**小 売 業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2020年10月～12月)		次期の見通し (2021年1月～3月)
		前年同期 (2019年10月～12月)に比べて	前期 (2020年7月～9月)に比べて	次期 (2020年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	0	0	/
	不変	1	1	
	減少	4	4	
	D・I	▲80	▲80	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	1	5	
	低下	4	0	
	D・I	▲80	±0	
商品仕入単価	上昇	3		/
	不変	2		
	低下	0		
	D・I	60.0		
商品仕入額	増加	0		/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
商品在庫数量	増加	0		/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0		/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

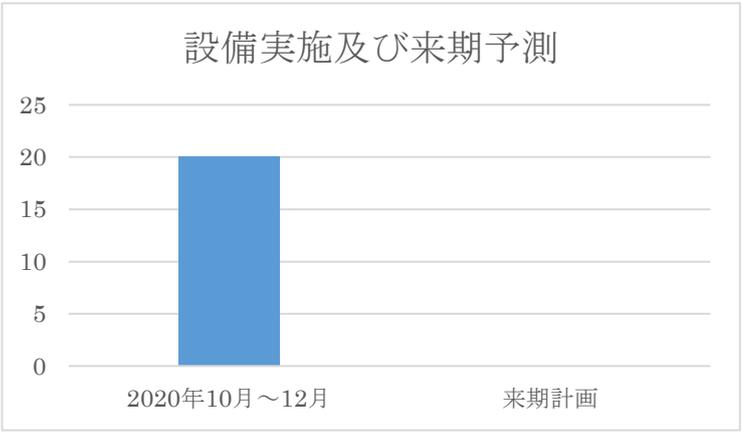
【今期実施内容】

回答事業所の内、実施は20%。

●生産機器=100%

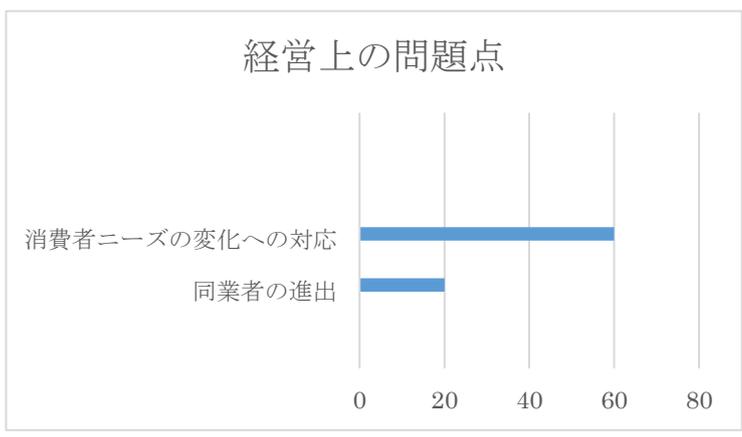
【来期計画内容】

回答事業所の内、無し。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、消費者ニーズの変化によりインターネットを利用した購買も進み常連客の減少も多いとの意見もありました。



**サービス業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2020年10月～12月)		次期の見通し (2021年1月～3月)
		前年同期 (2019年10月～12月)に比べて	前期 (2020年7月～9月)に比べて	次期 (2020年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上(収入)額	増加	0	0	/
	不変	3	3	
	減少	2	2	
	D・I	▲40	▲40	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	4	4	
	低下	1	1	
	D・I	▲20	▲20	
仕入単価(材料等)	上昇	2	/	/
	不変	3		
	低下	0		
	D・I	40.0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

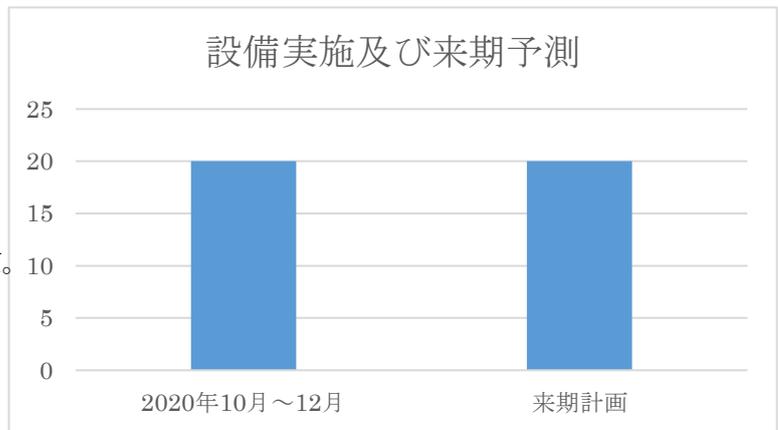
回答事業所の内、今期実施 20%。

- 生産機器=100%

【来期計画内容】

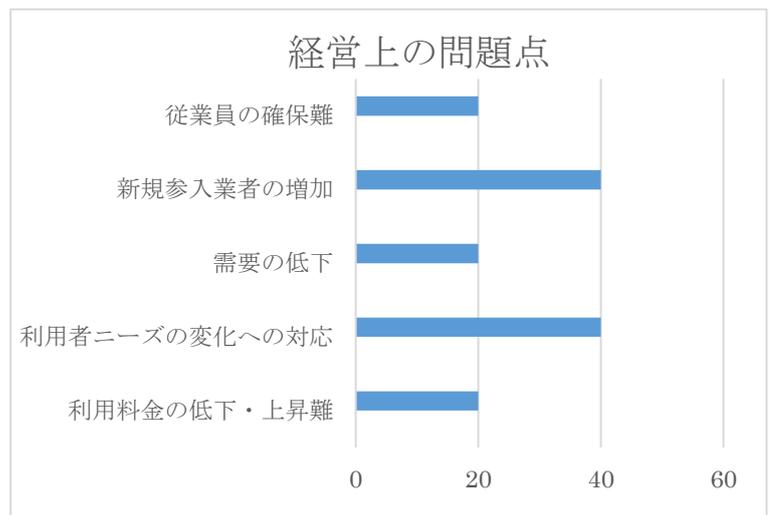
回答事業所の内、来期実施は 20% 予定。

- 店舗=100%



○今期の経営上の問題点

今回の調査で、「新規参入業者の増加」や「利用者ニーズの変化への対応」など関する意見を多くいただいた。



# 中小企業景況調査報告

(第4四半期)

2020年10月～12月期実績

2021年1月～3月期予測

2020年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、令和元年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

2021年1月～3月期実施

### (5) 調査時点

2021年3月1日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (2021年1月～3月)		次期の見通し (2021年4月～6月)
	前年同期 (2020年1月～3月)に比べて	前期 (2020年10月～12月)に比べて	次期 (2021年1月～3月)に比べて 来期の見通し
製造業	▲33.3	▲33.3	▲33.3
建設業	±0	±0	±0
小売業	▲20	±0	±0
サービス業	±0	±0	±0

**製造業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2021年1月～3月)		次期の見通し (2021年4月～6月)
		前年同期 (2020年1月～3月)に比べて	前期 (2020年10月～12月)に比べて	次期 (2021年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	1	1	1
	D・I	▲33.3	▲33.3	▲33.3
売上 (加工)額	増加	0	1	/
	不変	2	1	
	減少	1	1	
	D・I	▲33.3	±0	
売上 (加工)単価	増加	0	1	/
	不変	2	1	
	減少	1	1	
	D・I	▲33.3	±0	
売上 (加工)数量	増加	0	2	/
	不変	0	1	
	減少	3	0	
	D・I	▲100	66.7	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	3	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
原材料 仕入単価	上昇	0	/	/
	不変	2		
	低下	1		
	D・I	▲33.3		
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	2		
	悪化	1		
	D・I	▲33.3		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

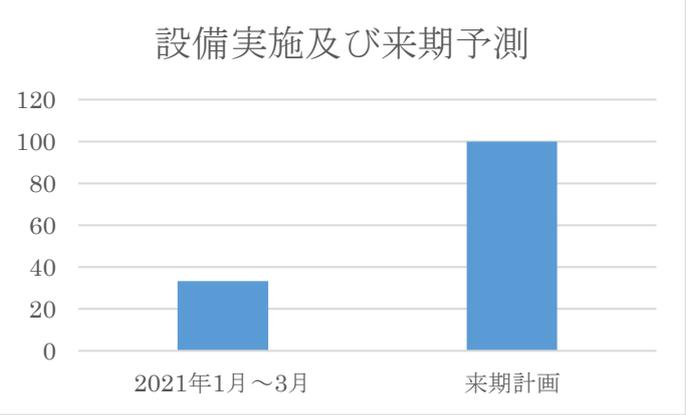
回答事業所の内、実施 33.3%。

- 生産設備=100%

【来期計画内容】

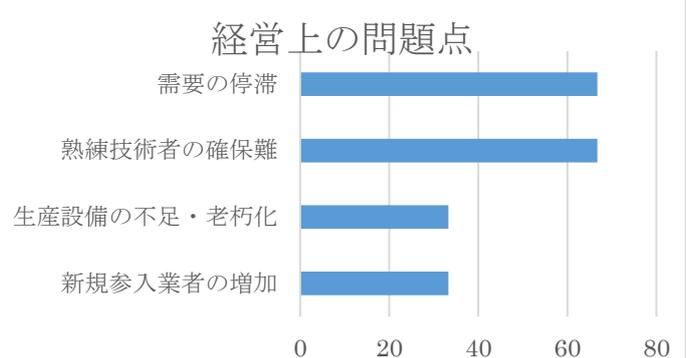
回答事業所の内、計画 100%。

- OA 機器=50%
- 生産設備=50%



○今期の経営上の問題点

今期は、「熟練技術者の確保難」や「需要の停滞」などの意見を多くいただいた。



**建設業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (2021年1月～3月)		次期の見通し (2021年4月～6月)
		前年同期 (2020年1月～3月)に比べて	前期 (2020年10月～12月)に比べて	次期 (2021年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	0	0	/
	不変	1	1	
	減少	1	1	
	D・I	▲50	▲50	
受注 (新規契約工事)額	増加	0	/	/
	不変	2		
	減少	0		
	D・I	±0		
材料仕入単価	増加	1	/	/
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	1	2	
	悪化	1	0	
	D・I	▲50	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	1		
	悪化	0		
	D・I	▲50		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、設備実施無し。

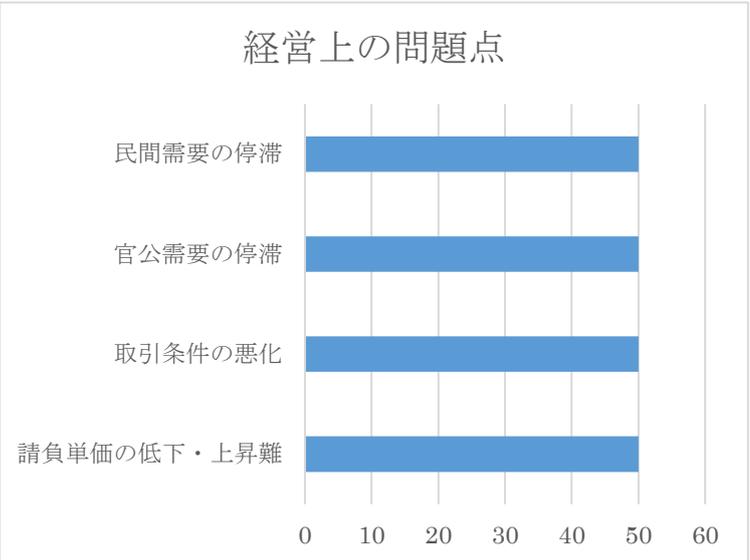
【来期計画内容】

回答事業所の内、計画は未定。



○今期の経営上の問題点

今回は、「民間需要の停滞」や「取引条件の悪化」が多く、続いて「官公需要の停滞」や「請負単価の低下・上昇難」の意見をいただいた。



**小 売 業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2021年1月～3月)		次期の見通し (2021年4月～6月)
		前年同期 (2020年1月～3月)に比べて	前期 (2020年10月～12月)に比べて	次期 (2021年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	4	5	5
	悪化	1	0	0
	D・I	▲20	±0	±0
売上額	増加	0	0	/
	不変	3	3	
	減少	2	2	
	D・I	▲40	▲40	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	3	3	
	低下	2	2	
	D・I	▲40	▲40	
商品仕入単価	上昇	0	/	/
	不変	3		
	低下	2		
	D・I	▲40		
商品仕入額	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	4	4	
	悪化	1	1	
	D・I	▲20	▲20	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	4		
	悪化	1		
	D・I	▲20		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

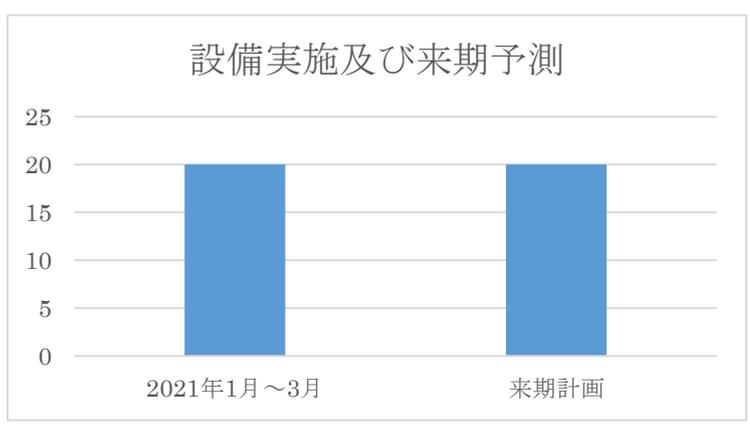
回答事業所の内、実施は20%。

- OA 機器=100%

【来期計画内容】

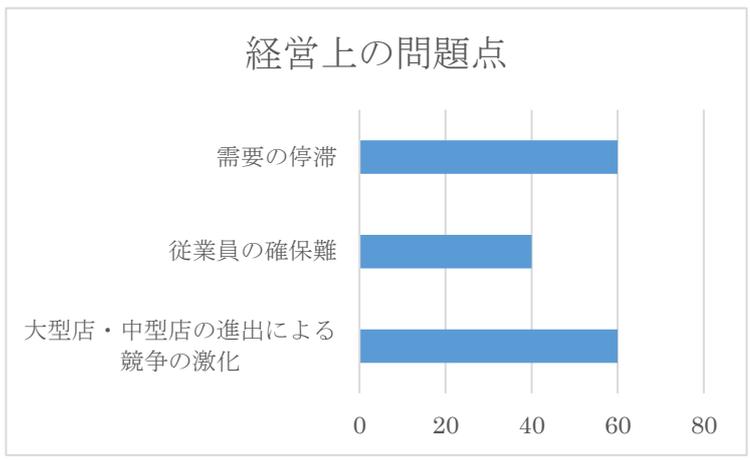
回答事業所の内、20%実施予定。

- 店舗=100%



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「大型店・中型店の進出による競争の激化」がもっとも多く事業所より意見をいただいた。



**サービス業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し） 回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2021年1月～3月)		次期の見通し (2021年4月～6月)
		前年同期 (2020年1月～3月)に比べて	前期 (2020年10月～12月)に比べて	次期 (2021年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上(収入)額	増加	2	0	/
	不変	3	5	
	減少	0	0	
	D・I	40.0	±0	
客単価	上昇	1	0	/
	不変	4	5	
	低下	0	0	
	D・I	20.0	±0	
仕入単価(材料等)	上昇	0	/	/
	不変	5		
	低下	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

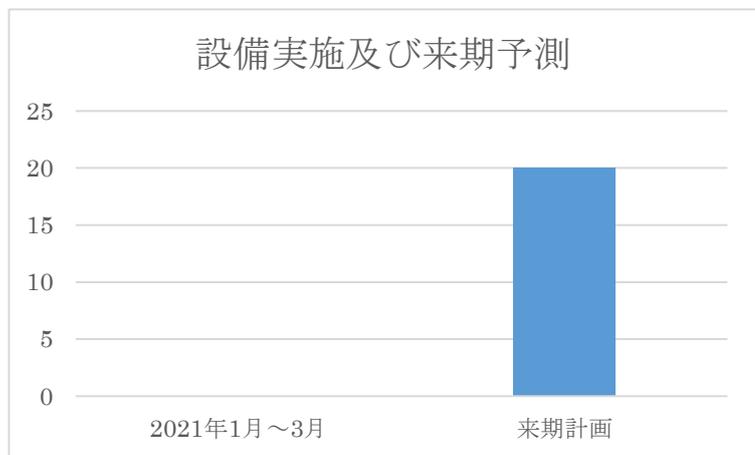
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は無し。

【来期計画内容】

回答事業所の内、20%実施予定。

●生産設備=100%



○今期の経営上の問題点

今回は「利用者のニーズの変化への対応」が多く、需要の停滞などが続き、人件費の増加などの問題点をあげられた。

